

(6) 設備投資

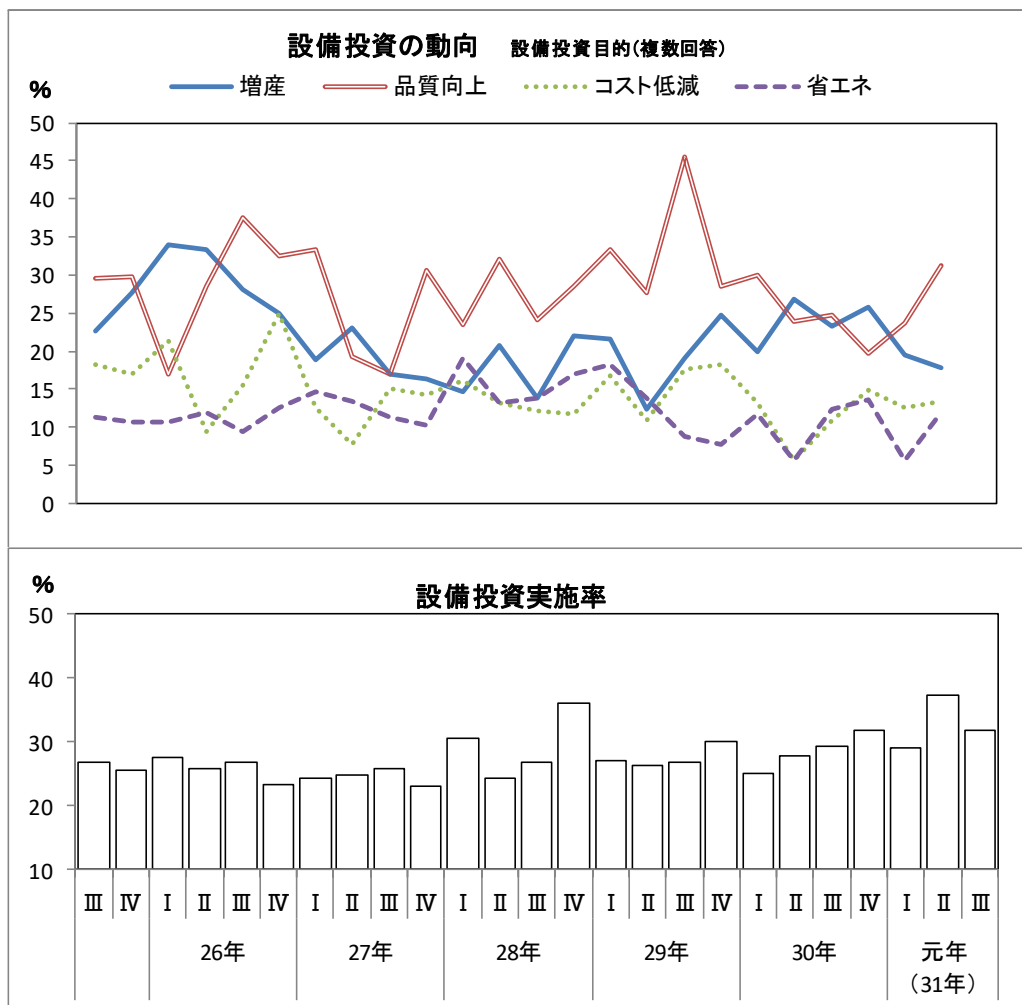
設備投資実施率については26.9%となり、前回調査より2.1ポイント下降している。業種別で高い実施率となったのは、「プラスチック製品」・「窯業・土石製品」で、目的別では「品質向上」が31.3%、「増産」が17.9%、「コスト低減」が13.4%、「省エネ」が11.9%となっている。

来期の設備投資計画率（令和元年7-9月期の設備投資計画）については31.7%となり、前回調査の36.8%から5.1ポイント下降している。

設備操業率については、前期比で「上昇」したとする企業が10.0%、「下降」したとする企業が22.6%で、DIは▲12.6となり、前回調査の▲17.9から5.3ポイント上昇している。

【図表13、14】

【図表13】



【図表14】

	設備投資			設備操業率 前期比		
	実施	不実施	DI	上昇	下降	DI
食料品	26.5	73.5	▲47.0	11.4	18.2	▲6.8
繊維	13.8	86.2	▲72.4	9.5	23.8	▲14.3
木材	0.0	100.0	▲100.0	0.0	25.0	▲25.0
紙・加工品	14.3	85.7	▲71.4	13.3	13.3	0.0
窯業・土石	33.3	66.7	▲33.4	8.6	37.1	▲28.5
金属	26.9	73.1	▲46.2	7.7	30.8	▲23.1
機械・機器	32.8	67.2	▲34.4	7.0	19.3	▲12.3
プラスチック	45.5	54.5	▲9.0	36.4	0.0	36.4
合計	26.9	73.1	▲46.2	10.0	22.6	▲12.6